

G20大阪
サミット

開催前に説明会

港湾関係者ら200人参加

【関西】来年6月に大阪市の咲洲地区で開催される20カ国・地域首脳会議（G20大阪サミット）を前に18日、大阪市内で港湾関係事業者向けの説明会が開かれ、約200人が出席した。サミットの開催概要やこれまでの取り組みなどを関係当局が説明する一方、現時点で未確定なことも多いことから、随時情報提供を図ることで円滑な開催につ

なげたい意向が示された。大阪府や大阪市、関西広域連合など政財界で構成する「G20大阪サミット関西推進協力協議会」が、開催半年を前に開いた説明会。18、19日と2回開催する。

説明会では同協議会の吉田真治事務局長があいさつした。11月末に開かれたアルゼンチン・フエノスアイレスに次ぐ大阪



開催半年を前に説明会

湾施設や物流倉庫が集まる人工島の咲洲地区にある。吉田事務局長は「（現時点で）未確定な部分も多い」と述べ、今後も説明会を開催するなど積極的に情報提供を進める姿勢を強調した。

続いて協議会事務局が概要説明した。サミットが6

月28、29日開催で世界約35カ国が参加し、政府関係者ら約3万人が訪れる見通しや、ホテル3万室分を確保済みなどなどを紹介した。また大阪府警本部や第五管区海上保安本部、大阪市港湾局からそれぞれ概要説明があった。

サミットが開かれる同市住之江区のインテックス大阪は、コンテナターミナルやフェリーターミナル、在来バスなど港